(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3165738号
(U3165738)
(45)発行日　平成23年2月3日(2011.2.3)　(24)登録日　平成23年1月12日(2011.1.12)

(51)Int.Cl.		F I		
A63B 57/00	(2006.01)	A63B	57/00	Z
A63B 71/14	(2006.01)	A63B	71/14	A
A41D 19/00	(2006.01)	A41D	19/00	D

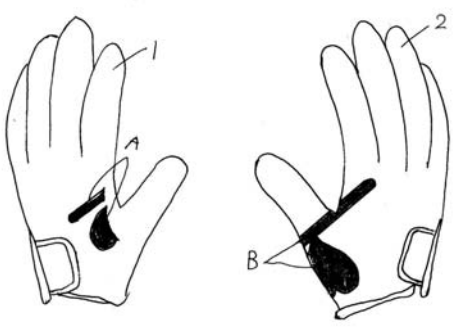
評価書の請求 未請求　請求項の数 1　ＯＬ　（全 4 頁）

(21)出願番号　実願2010-7620(U2010-7620)
(22)出願日　平成22年11月19日(2010.11.19)

(73)実用新案権者　501410344
大平　剛久
岡山県岡山市東区上道北方６５６番地　マンション城東台１－２０３
(72)考案者　大平　剛久
岡山県岡山市東区上道北方６５６マンション城東台１号館２０３

(54)【考案の名称】グリップ矯正グローブ

(57)【要約】　（修正有）
【課題】初心者のような握り方の分からない人でも正しい握り方が可能になるゴルフグローブを提供する。
【解決手段】左手グローブ１の親指から左手甲部の中央部分にＡを描き、また右手グローブ２の親指から右手甲部の中央部分にＢを描く。両手グローブをはめて、ＡとＢの模様を合せる様にしてクラブを握り１つのデザインを完成させる。なおかつデザインが全て目視できることで両手のグリップ矯正に役立つ。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
両手グローブの親指から手の甲部の中央部分にかけて左右非対称な模様を描き、二つの模様を重ね合わせて左右結合することにより一つのデザインを完成させるとともにデザインが全て目視できることを特徴とするグリップ矯正グローブ。

【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、ゴルフ用両手グローブの手の甲部に左右非対称の模様を描いたゴルフグローブに関するものである。
なお、模様とは、絵、文字、線、キャラクター、ロゴマーク、刺繍、デコレーション等が考えられる。
【背景技術】
【０００２】
ゴルフにおいて初心者等がクラブを握った場合、握り方は他人に習ったり教材から学んだり、または自分の感覚で握りやすいように握っていた。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】実開６１－１０３１７５号公報
【特許文献２】特開平９－２９９５４１号公報
【考案の概要】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
誤った握り方は、飛球方向に影響し飛距離ダウンに繋がる。さらに上達を遅らせる。したがってグローブの機能と正しい握り方を一体化することにより、初心者等のような握り方の分からない人でも正しい握り方が可能になり前述の欠点を解決するものである。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
本考案は、両手グローブの手の甲部の部分に左右非対称な模様を描き、左右のグローブを重ね合わせることで１つのデザインを完成させる。かつそのデザインは左右途切れる事無く、全て目視することにより問題点を解決している。
【考案の効果】
【０００６】
上述のように、本考案のグリップ矯正グローブはグローブでクラブを握ってプレーすることはもちろん、グリップを誰でも正しく握ることが出来るので飛球の方向性が良くなり、飛距離もアップする。さらに上達を早めるのに役立つ。
【図面の簡単な説明】
【０００７】
【図１】グリップ矯正の模様を付した左右グローブである。
【図２】クラブを握ったときの使用説明図である。
【考案を実施するための形態】
【０００８】
両手グローブの手の甲部に左右非対称な模様をプリントまたは刺繍、貼り付け等で色を変えておく。その二つの模様を合わせてクラブを握ることで一つのデザインが完成し、グリップの矯正になる。
【実施例】
【０００９】
以下、添付図面に従って実施例を説明する。１と２は、羊革あるいは人工皮革等で

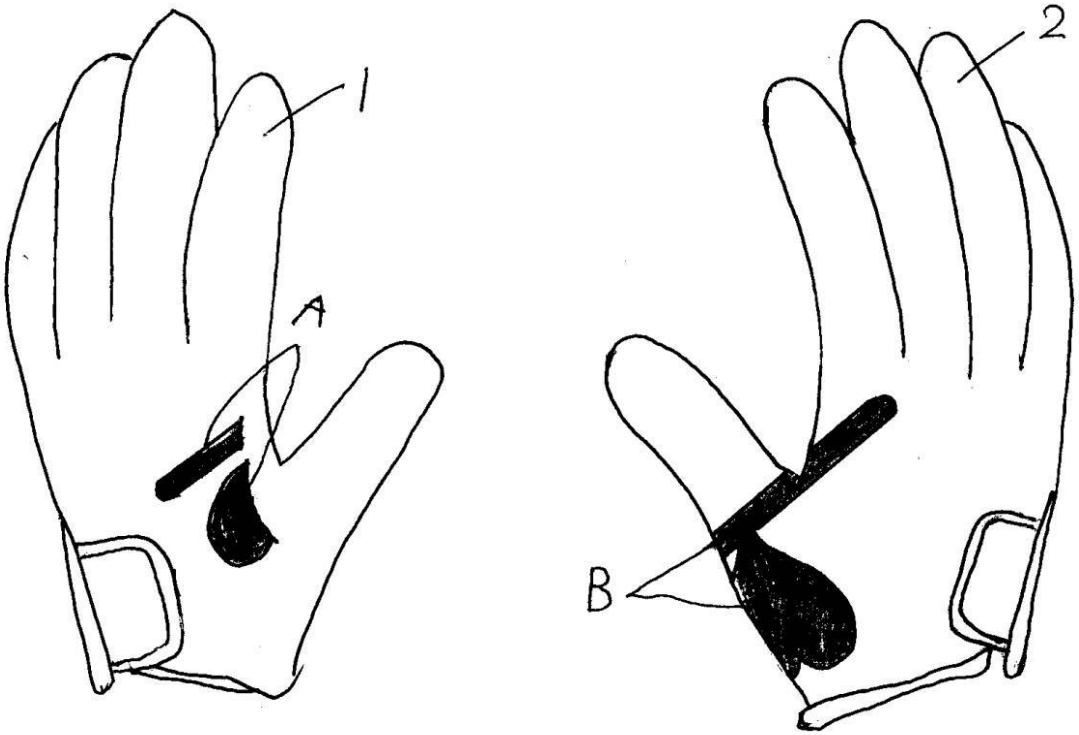
出来たゴルフ用グローブである。ＡとＢはそのグローブにプリントまたは刺繍、貼り付け等をされた模様である。ＡとＢの模様を重ねあわせてクラブを握り、Ｃのデザインを完成させる。

【符号の説明】

【００１０】

１　左手グローブ
２　右手グローブ
Ａ　模様
Ｂ　模様
Ｃ　Ａ・Ｂの結合デザイン

【図１】



【図２】

